

## 学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

### 【全国学力・学習状況調査結果の概要】

#### 成果

国語では、学習指導要領の「書くこと」「読むこと」の領域が全国平均を上回る正答率でした。「目的に応じて、自分の考えが伝わるように書いたり、表現を工夫して書いたりしている。」に肯定的な回答をしている生徒が多く、今年度の本校の研究主題「主体的に考え、豊かに表現する力の育成」の授業での取組や書き写し等の成果が表れているものと考えます。数学では整式の加法・減法の計算や、具体的な場面で一次方程式を作るなどの数学的な技能の問題において高い正答率でした。また、数学的な結果を事象に即して解釈し、特徴を数学的に説明する問題では、全国平均を大きく超える成果を得られました。

生徒質問紙では、正義感が強く、自己肯定感が高い生徒が多く、学校や友だちとの協力に関すること、生活習慣に関すること、スマートフォン等の時間や使い方についても全国平均よりも良好な回答が多く見られました。学校行事や道徳等での取組、メディア週間や生徒会の「瀬っ中LINE3か条」の取組などで、その成果が表れていると考えられます。

#### 課題と対応

国語では、学習指導要領の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」がやや他の事項より正答率が低く、課題が見られました。敬語の使い方等、基礎的な知識の学習にも力を入れていきたいと考えます。数学では扇形の中心角と弧の長さとの関係の理解に課題があります。数量関係を、割合を用いて表すことに課題が見られるので、単に扇形の弧の長さを求めるのではなく、多角的な視点で問題を捉える力を定着させたいと考えます。

生徒質問紙では、家庭での学習時間や計画的な学習、読書時間が、全国平均より下回っています。家庭と連携し、家庭学習の充実にも力を入れていくとともに、これからも毎日の朝読書や書き写しに継続して取り組みます。

### 【保護者・学区の方へのお願い】

本校生徒は、自己肯定感が高く、世の中の役に立ちたいと考えている生徒が多いです。また家庭での生活習慣やSNSの使い方についても家庭で時間やルールを決めるなど良好な回答が多いようです。半面、学習の大切さは理解しつつも、読書や家庭学習を計画的に行う生徒の割合が低くなっています。生徒が家庭学習にしっかり取り組み、学力がより向上するよう、学校でも学習の大切さについて考えさせたいと思います。ご家庭でも引き続き生活習慣がより向上し、家庭学習に計画的に取り組むことができるよう声掛けをお願いします。また、正しいSNSの使い方についても、より一層学校と家庭で連携して進められるよう、ご協力をお願いいたします。

## 令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

## 成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	自分の立場を明らかにして、自分の考えをまとめている。
	社会	安土桃山時代の概要について理解している。
	数学	円柱の展開図について理解している。
	理科	もやしの様子と成長に必要な条件を結び付け、生産方法を推測することができる。
	英語	質問に対して答える力が身に付いている。
	学習状況	家庭での基本的な生活習慣は身に付いている。
第2学年	国語	文法、語句については、繰り返しの学習により理解している。
	社会	中世のできごと、幕府のしくみについて理解している。
	数学	空間図形の展開図の重なる点について理解している。
	理科	顕微鏡の使い方について理解している。
	英語	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。
	学習状況	授業は社会に出て役立つものと考えていることができている。

## 課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	同訓異義語や同音異義語における漢字の書き分けに課題がある。	国語では、漢字テストなど、書き分けが必要な漢字は板書して説明するなどの具体的に伝わる方法を取り入れる。社会では、事象や人物、地名等の名称について学習の中で理解を深め、書く能力を向上させられるようにする。数学では、基礎的な知識の定着を図り、数学の便利さを実感させるような授業を展開する。理科では、コイルや導線に電流を流すことのできる磁界の向きや磁力の大きさを実験で確認する学習体験をする。英語では、音読やリスニング、スピーキング等の技能を身に付ける練習の機会を増やし、確実な定着を図る。学習状況では、これまで、授業に「よく分かる」という認識をもていなかったで、「分かる」「もっと勉強したい」と思える魅力のある授業になる工夫を施していきたい。
	社会	日本列島の周囲の海洋の名称等を正確に書くことに課題がある。	
	数学	比例の関係を理解したり、比を使って値を求めたりすることに課題がある。	
	理科	身のまわりで使われている電磁石の性質を説明することに課題がある。	
	英語	日常表現の理解に課題がある。	
	学習状況	これまでに、授業のめあて、振り返りが十分でないことが見られる。	
第2学年	国語	書く力、考察する力が不足し、学習に取り組む姿勢に課題がある。	国語では、書く課題、学び合いの課題を多く盛り込んだ授業を展開していく。社会では、資料の読み取りの練習や小テストを行い、問題を自分で解く習慣を身に付けるようにする。数学では、簡単な問題で文字の使い方を確認し、応用問題につなげる。理科では、実験結果をもとに対象となる事象を日常生活に関連付けて考えさせる場面を多く取り入れる。英語では、基本的な文型を使って話したり、書いたりする活動を増やし、英文を作る力を身に付ける。学習状況では、めあてに対する「まとめ」「振り返り」を意識した授業づくりをする。また、家庭学習の大切さを指導し、家庭でのメディアの使い方について家庭に協力を求める。
	社会	人々の信仰と文化について理解することに課題がある。	
	数学	数量との関係を式に表すことに課題がある。	
	理科	力の性質について理解することに課題がある。	
	英語	語形語法や語彙など、基礎学力の定着と英文を書く力に課題がある。	
	学習状況	授業のめあてに対して、まとめ・振り返りが十分定着できていない。	

【保護者・学区の方へのお願い】

第1学年、第2学年ともに概ね良い結果となりました。学習状況においては、家庭学習習慣の定着と時間確保に課題が見られます。メディア機器の利用の時間が多く、前年度と同じく70%以上の生徒が1日あたり1時間以上となっています。中学校区での瀬戸っ子（メディアチェック）週間の取組を行いますので、保護者・地域のみなさまのご支援とご協力をお願いいたします。